

株式会社 TYK Promotion 白井陽介社長 エンタメとスポーツで裾野広げたい

「名古屋オリジナルで楽しさ発信を」



白井 陽介（うすい ようすけ）1980年7月、名古屋市出身。愛知高校卒業後、代々木アニメーション学院を経て一年間イギリスに留学。帰国後、2005年にZIP-FM ミュージック・ナビゲーター。07年から名古屋グランパス、名古屋オーシャンズホームゲームのスタジアムDJを務めるほか、テレビ、ラジオ、イベントで活躍中。TikTokで名古屋グランパスのゴールを叫ぶ動画が話題となり「ゴールおじさん」と呼ばれている。

「ヨーヨー・ヨースケ」という名のDJをご存じのラジオリスナーも多いのではないかと。ZIP-FMのミュージック・ナビゲーターとして長年、活躍していた白井陽介さん(43)。現在は株式会社TYK Promotionの代表取締役社長だ。タレント活動を続ける傍ら、マネージメント事業をはじめエンターテインメントの企画運営まで手掛ける社長でもある。「名古屋オリジナルで楽しいことを発信し続けたい」と地元愛を胸にエンタメ事業の魅力と未来を語る。(取材/後藤康之、中西英夫)

——ZIP-FMで活躍されていましたね。

白井 そうです。「YO!YO!YOSUKE（ヨーヨー・ヨースケ）」という名前でタレント活動をしていました。20歳ぐらいからイベントのMCやスキー場でのゲレンデでDJなどをしていましたが、2005年にZIP-FMのオーディションをきっかけに22年3月までミュージック・ナビゲーターを担当していました。また、07年から現在まで名古屋グランパスのスタジアムDJも務めています。それらの二つの肩書のおかげで、今ではテレビやイベントなどにも出演できるようになり、タレント活動で生計が立てられるようになりました。

現在は、TYK Promotionでタレントのマネージメント業務、キャスティング事業、イベントの企画提案などを行うエンタメスペシャリスト事業などを行っています。もともと個人事業主として独立した際にTYK Promotionの屋号で活動していましたが、多角的な展開を進めてい

くために2018年に法人化しました。

——アニメも創られました。

白井 僕は30歳の時に独立しました。その時、30代をどのように生きていくか考え、歳を追うごとに実力じゃなくて横のつながりにあぐらを描くようなタレントプレーヤーでいたくなかった。そう思っているうちに後継というか若い人を育てたいと思うようになってきました。そもそも、名古屋のエンタメは東京のタレントさんが中心となっている現状があります。僕らが切り開いて行きつつ、次の世代を育てていかなければ東京に全部持っていかれてしまいます。そうならないために、名古屋オリジナルのコンテンツ、人やコトをどんどん創っていくべきです。

その中で、自分の生き方として一つあったのがアニメでした。東海エリアの企業を集め製作委員会方式で、名古屋・東海エリア発のアニメを創ろうと動き、2021年に豊田市を舞台に